



《 東京オリンピックに寄せて③ 》

## “ハダシの勇者” アベベ

1964 東京



アベベ・ビキラ選手（エチオピア）について、ご存知の方はおられないかもしれませんが、1960年のローマオリンピックに彗星のごとく現れ、裸足で走り、金メダルを獲得して話題となりました。実は、1964年の東京オリンピックでマラソンを走った時は、裸足ではなかったそうです。

当時の新聞(中部日本新聞 昭和39年10月26日)記事にこう書いてあります。

「ものすごい速いペース。快走を続ける“カッ色の勇者”アベベに、沿道の観衆は盛んな拍手を送り続けた。だが、専門家の間では「いつつぶれるかが見もの」という声ささやかれていた。それほどアベベのペースは早く、無謀にさえ見えたのだ。

しかし、アベベは割れるような7万5千の大観衆の見守るなか、小柄なからだを国立競技場に見せた。アベベはつぶれなかった。42.195キロのコースを2時間12分11秒2の驚異的な記録で突っ走

った。オリンピックの花、マラソンで初の連覇という大偉業を成し遂げたのだ。甲州街道を突っ走る“ハダシの勇者”の足に、ドイツ製のクツが白かった。」

アベベ選手は、ゴール後取材陣の質問にこう答えたそうです。

「ローマを裸足で走ったのは、歴史を作ったかったのだ。今度は、ドイツ製の靴を使った。ベリーグッドだった」

取材陣がどういうきき方をしたかはわかりませんが、このドイツ製の靴というのは、ご存知！「PUMA」、ドイツでスポーツシューズを開発していた兄弟がけんか別れし、弟が設立した会社。ちなみに「adidas」は、兄が設立した会社です。偉大な兄弟です。

アベベ選手は、東京オリンピック前の1961年に出場した毎日マラソンでは、オニツカ(鬼塚株式会社 現:asics)のシューズを履いて優勝したのに、オリンピックでは、履いてもらえなかったそうです。

♥ Happy Birthday 9/21・松浦 昊汰君

